

すぐに使用するには？

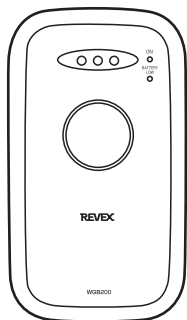
徘徊防止アラーム

品番：WGB150

徘徊防止アラームの構成

親機からの光とアラーム音で通過を警告。

送信機タグを身に付けた特定の方が外に出ようとする時、出入口等に設置した親機が光とアラーム音で警告します。



親機
WGB100



送信機タグ
WSA33

親機 WGB100

- 電池(単1形アルカリ電池x3個)を内蔵しています。

送信機タグ WSA33

- 電池(ボタン形リチウム電池 CR2032x1個)を内蔵しています。

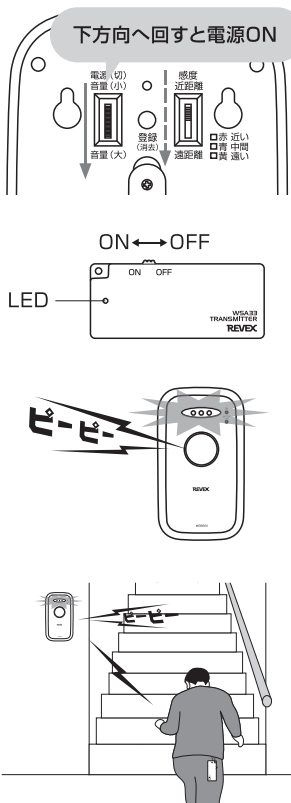
- 送信機タグを衣類に付けた徘徊ご老人の方や要介護者が危険場所の0.5~13m(調整可能)に近づくと、親機のLEDがフラッシュし、アラーム音を発して注意を促します。
- 1台で30人まで管理できます。



使用するには

送信機のIDは、出荷時に親機に登録済みです。

- 1 親機の“電源”スイッチを下に回し、半分くらい回したところで止めます。後程“音量”を調節してください。
- 2 親機の“感度”を『近距離』にセットしておき、親機から1mくらい離して、送信機タグの電源をONにします。
- 3 送信機タグを親機に近づけると8秒間アラームが鳴り、ブルーの光がフラッシュします。アラームが終わり、そのままにしていると8秒後に再びアラームが作動します。
- 4 一旦、送信機タグを離して(たとえば4m程度)、親機の“感度”ボリュームを“遠距離”側へゆっくりと回していきます。アラームが作動すればそのボリュームの位置が約4mです。
- 5 実際に設置する危険場所や出入口の上の壁面に付属ネジで設置して、アラームが作動する距離を確認します。



徘徊通報チャイム

品番：WGB250

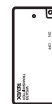
徘徊通報チャイムの構成

現場から離れた場所においても携帯受信チャイムで外出をキャッチ。

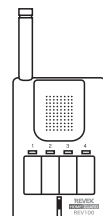
送信機タグを身に付けた特定の方が外に出ようとする時、出入口等に設置した親機が光とアラーム音で警告し、更に管理者に通報します。



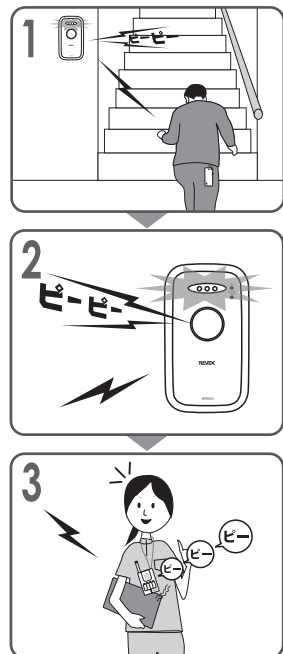
送信機内蔵親機
WGB200



送信機タグ
WSA33



携帯受信チャイム
REV100



送信機内蔵親機 WGB200

- 電池(単1形アルカリ電池x3個)を内蔵しています。
- 通報用送信機を内蔵しています(電池9Vアルカリ電池x1個内蔵)。

送信機タグ(WSA33)と親機(WGB200)の関係

- 左記の徘徊防止アラーム(WGB100)と同様です。
- 左記の説明をご覧ください。

親機(WGB200)と携帯受信チャイム(REV100)の関係

- 親機が送信機タグの電波を受信してアラームが作動すると同時に、親機から受信チャイムに電波を出します。
- 受信チャイムはこの電波を受信して、チャイム音が鳴り、LEDが30秒間点滅を続けます。

携帯受信チャイムを使用するには

- 1 まず、付属の充電器を使用して内蔵の充電電池を充電してください。満充電までに8時間かかります。
- 2 “ボリューム付電源スイッチ”を少し回すとカチッと音がして適当な音量になります。
- 3 “ブザー/パイプ”スイッチで『チャイム音』か『パイプ』を選びます。
- 4 受信準備完了です。
- 5 送信機タグを親機に近づけるとアラームが作動し、同時に携帯受信チャイムが鳴ることを確認します。



携帯受信チャイム REV100

⚠️ ご注意

- 実際に身体に送信タグをつけてテストしてください。
- 送信タグを増やす場合は、登録してから使用します。

●詳細は、取扱説明書をよくお読みください。

徘徊防止アラーム / 品番: **WGB150** (親機 / 品番: **WGB100** 送信機タグ / 品番: **WSA33**)

『思いやり君』徘徊防止アラーム 取扱説明書

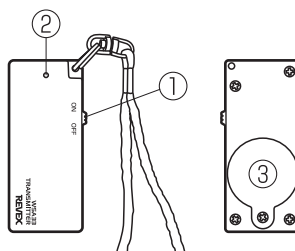
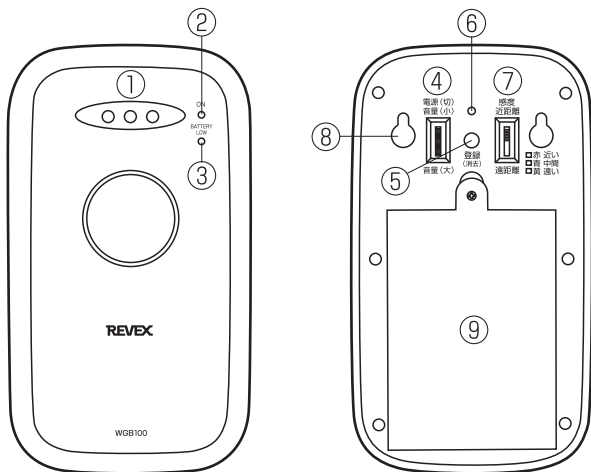
思いやり君WGB150をお買い求めいただきありがとうございます。この取扱説明書を御熟読の上ご使用いただき、大切に保管してくださいませようお願い申し上げます。

各部の説明

思いやり君 徘徊防止アラーム WGB150(セット)

親機 WGB100 お試し用電池内蔵

- ① ブルーフラッシュ……………(送信機タグWSA33からの電波を感知すると8秒間フラッシュします)
- ② 電源ON表示 赤……………(電源が入ると点滅を続けます)
- ③ 電池切れ表示 オレンジ……………(電池切れになると点滅します。点滅したら、すぐに電池交換をして下さい)
- ④ 電源スイッチ付音量ボリューム……………(上方向に回しきるとOFF、下に回すと電源が入りONになり、回すにつれてアラーム音量が大きくなります)
- ⑤ 登録ボタン……………(送信機タグ固有のID電波を登録するときに押します)
- ⑥ 登録表示LED 赤……………(登録ボタンを押すと点灯して登録待ち、登録すると消えます)
- ⑦ 受信感度調整ボリューム……………(鳴り出す距離を0.5m~1.3mの範囲で調整できます)
- ⑧ 壁面設置ネジ引掛け穴……………(60mmのピッチで付属のネジを壁面に固定し、これに引っ掛けて設置します)
- ⑨ 電池蓋……………(ネジ1本を外して蓋を取り外し、電池を交換します)



送信機タグ WSA33

- ① 電源スイッチ
- ② 電源ON表示ランプ
- ③ 電池蓋

使用電池CR2032形ボタン電池x1個内蔵

概要

- 介護施設・医療センターなどで徘徊する方が監視の目をくぐり、外出して事故を起こす、或いは、階段などで骨折事故を起こすなどのトラブルを未然に回避する徘徊防止アラームです。
- 階段や出入り口などに親機を設置し、送信機タグをあらかじめ衣類につけた対象者が近づくとアラームが鳴り、ブルーLEDが明るくフラッシュして警告します。
- 徘徊者を抱えている一般家庭でも使用できる外出防止用ワイヤレスアラームです。

特徴

- 介護を必要とする高齢者や徘徊ご老人が、できる限り施設内で自立した日常生活を送ることができるよう介護支援、介護サービスを実施している施設や、在宅介護をしているご家庭内で、要介護者の転倒事故予防、徘徊ご老人の外出防止に役立ちます。
- 送信機タグを衣類につけた要介護者や徘徊癖のある方が、危険場所や出入口の3~4m前後に近づくと、親機の高輝度LEDがフラッシュし、アラーム音を発して注意を促すとともに、近くにいる介護者などに知らせ、転倒による怪我や骨折、外出による事故を未然に防ぎます。
- 送信機タグをあらかじめ装着していない人には反応しません。
- アラーム音量は、無音から100dBの大音量まで可変可能ですから、場所に応じて最適な音量に設定することができます。
- 介護施設などで、1台の親機で30人までを一括管理することができます。
- 『複数の出口でも対応可能』出口や階段が複数個所ある場合は、それぞれの場所に親機を設置可能です。
- 『混信なし。誤動作に強いデジタルID方式』送信機タグは固有のデジタルIDコードを持っていますので、このIDコードを親機にあらかじめ登録してから使用します。複数個の送信機タグを使用しても混信しません。また、他の外来電波に対しても誤動作しません。

広い介護施設や医療センターにも対応

オプションの徘徊通報チャイムWGB250を設置すれば、動作すると、携帯受信チャイム(REV100)に即時に電波を飛ばし、離れた場所にいる看護師に動作したことを通報することもできます。また、携帯受信チャイムは一度に20か所の受信アラーム(WGB200)を管理することが可能です。さらに、携帯受信チャイムの数を増やして複数の人に同時に通報することもできます。[詳細は徘徊通報チャイムWGB250の取扱説明書をご覧ください]

ご使用の前に

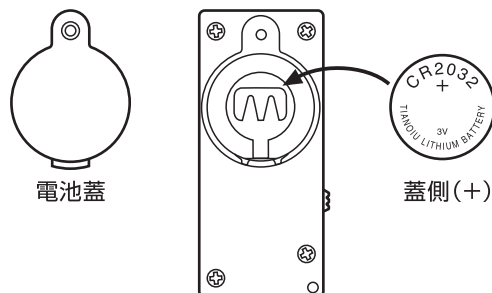
電源の動作確認と電池交換方法

1. 送信機タグ (WSA33)

- 動作確認用電池を内蔵していますので、スイッチを入れればすぐに使用できます。
- 電源スイッチをスライドさせてONにします。正面の赤いランプが点滅を開始します。
- 新品電池の電池寿命は連続使用して約2週間です。定期的に早めに交換してください。
- 電池交換方法
裏ケースの電池蓋ネジ1個を外して蓋を開け、電池を抜きとってください。奥の基板にある電池電極側が-、電池蓋側が+です。尚、電池表面に指紋や手の脂等の汚れが付着しないよう注意してください。

WSA33の電池交換図

○使用電池：CR2032形ボタン電池x1個

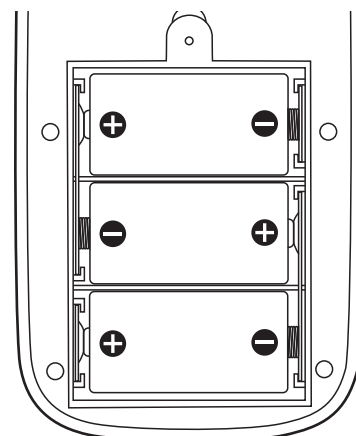


2. 親機 (WGB100)

- 親機にはお試し用電池を内蔵しています。スイッチをONにすると前面の通電表示LED(赤)が点滅を開始します。
- セットでお買い上げの送信機タグ(WSA33)のIDは登録済ですので、アラームの動作距離を設定して、アラーム音量を調整すれば、すぐに使用できます。詳しい使用法は下記の『使用方法』をご覧ください。
- 電池寿命は20℃の室温で1日5回アラームが作動するとして約1年間です。
- 電池交換方法
背面の電池蓋を止めている中央寄りの子ネジを1個外して蓋を開けます。電池の+/-に注意して、電池を奥まできちんと入れます。蓋を元に戻して、ネジで止めてください。
- 電池切れ表示
親機の電池が弱ってくると、前面のオレンジ色ランプが早く点滅します。点滅に気が付いたらすぐに交換してください。オレンジ色ランプが点滅すると、アラームは鳴りません。また、ブルーフラッシュも光りません。

親機の電池交換図

○使用電池：単1形アルカリ電池x3個



使用方法

■動作概要

- 送信機タグ(WSA33)を付けた要介護者が、警報装置・親機の設定距離(例えば3m~4mの距離)以内に近づくと、親機のブルーLEDが8秒間フラッシュし、同時に「ピーピーピー」というアラーム音が8秒間鳴ります。近くにそのまま居ると再び受信しますので8秒後に再び同様の動作をします。
- 警告を発するタイミングは、歩く速度と設置場所の環境・建物の構造、送信機タグの所持形態などにより距離は一定ではありません。後述の「動作確認と調整方法」の説明に従ってアラームが鳴る距離を調整してください。

■動作確認と調整方法

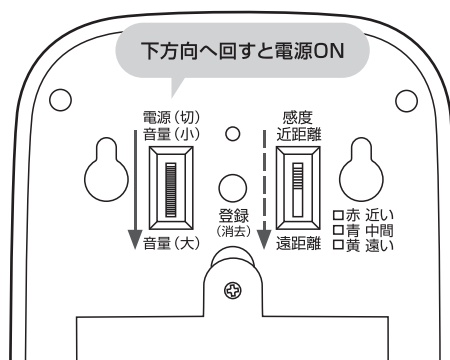
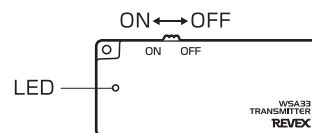
① 送信機タグ (WSA33)

- 送信機タグの側面にある電源スイッチをONにします。正面のLEDが点滅することを確認します。
- 監視する必要のない時間帯では、電池の消耗を防ぐため、送信機の電源をOFFにしてください。LEDが消えたことを確認してください。

② 親機 (WGB100)

- 電源スイッチ:背面左側のボリュームを下方に回しボリュームを上げると電源スイッチがONになり前面のブルーフラッシュが2回光り、「ピーピー」音が鳴った後、赤いLEDが点滅を続けます。

(近くで登録した送信機がONになっている場合はアラームが鳴ります)



●アラーム音量：

背面左側のボリュームで無音から大音量まで可変します。適当な音量に調整してください。

●受信感度調整《動作距離設定》ボリューム：

近距離【上側】から少しずつボリューム動かした後、送信機を近づけて行き、鳴り始める距離を確認してください。送信機タグを体に密着させてゆっくりと歩き、3m～4m程度でアラームが動作する距離でのご使用をお勧めします。

●目安になる距離：

赤マーク：近距離、青マーク：中距離、黄色マーク：遠距離

③ 送信機タグのIDを親機に登録する方法 (送信機タグを追加購入した場合に登録してください)

△ご注意 登録する前に全てのWSAS33(送信機タグ)の電源をOFFにしておいてください。

イ. 親機背面中央にある登録ボタンを押すとボタンの上の赤いLEDが点灯します。

送信機タグをONにすると「ピピッ」音が聞こえ、LEDが消灯すれば登録完了です。

ロ. 複数の送信機タグを登録する場合は登録済みの送信機タグを全てOFFにしておいてください(重要)。

ハ. 同様にして、順次次々と送信機タグのIDを親機に登録してください。

ニ. 合計30個まで、送信機タグのIDを親機に登録することができます。

④ ID消去方法

△ご注意 開始する前に全てのWSA33(送信機タグ)の電源をOFFにしておいてください。

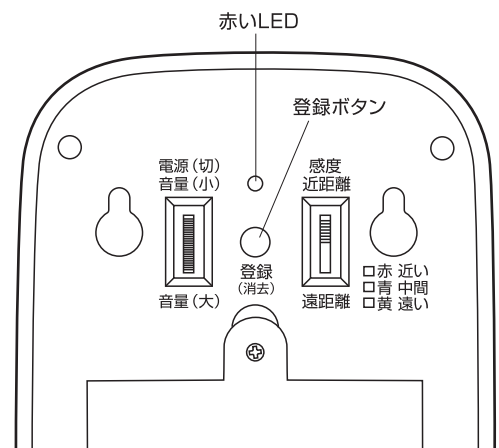
イ. 親機の背面中央の押しボタンを押すとボタンの上の赤いLEDが点灯します。

送信機タグをONにすると「ピー」音が聞こえ、LEDが消えれば消去完了です。

つまり送信機タグを2回登録すると消去されます。

ロ. 再度登録するには、もう一度同様の方法を繰り返します。

再登録して使用することができます。



使用上のご注意

重要なお知らせ

本商品は徘徊防止のための報知・威嚇用であり、徘徊者の生命や危険に対する安全を保証するものではありません。

- 送信機タグは、弱い電波を連続的に出しています。電磁波の身体に対する影響は問題ありませんが、心臓ペースメーカー等を使用している方には念のため、これらの機器と送信機タグの距離を0.5m以上離して使用してください。
- 周囲で強い電波が出ている場所、直流電圧で駆動するベル、モーターなどがある場所では、電波抑圧により送信電波が抑えられて親機に電波が届かず、アラームが鳴らないことがあります。
- 送信機タグを所持した人が早足で歩く、又は、走る場合は親機が受信できずアラームが鳴らない場合があります。
- 送信機タグの電池が弱っている場合は、設定した場所でも電波が届かず、アラームが鳴らない場合があります。電池の電圧が下がり赤いLEDの光が暗くなったらすぐに、電池を交換してください。できれば定期的に(毎日連続で使用して2週間後に)電池を交換してください。
- 親機のオレンジLEDが点滅しているときは、電池切れですので受信してもアラームは鳴りません。できれば1年ごとに定期的に電池を交換してください。
- 送信機タグの電源スイッチがOFFになっているときは、親機は動作しません。
- 室内の構造によっては、時々、遠く離れているのにアラーム音が鳴る場合があります。その場合は、親機の感度を少し落として短い距離に設定してご使用ください。
- 数人の人が固まって移動すると、鳴らないことがあります。
- 監視する必要のない時間帯では、電池の消耗を防ぐため、電源スイッチを切っておいてください。
- 送信機タグ及び親機は防水仕様ではありません。水に濡らしたり、湿度の高い場所で使用しますと故障の原因となります。
- 親機は電池が重いため、壁面にはしっかりと設置してください。また、落下させないでください。落下させますと破損により故障の原因となります。

仕様と機能

思いやり君 徘徊防止アラーム WGB150(セット)

送信機タグ WSA33

電源	使用電池	ボタン形リチウム電池CR2032x1個(動作確認用電池内蔵)
	電池寿命	連続使用して約2週間
	通電確認	赤LED(電源スイッチON時に点滅する)
送信機能	送信周波数	315MHz帯微弱電波
	送信電波	デジタルIDコード式パルス出力電波
外形寸法	55(W)x23(H)x7(D)mm	
質量	約10g(電池を含む質量)	
防水	防水仕様ではありませんので、濡らさないようご注意ください。	
本体材質	ABS樹脂	

親機 WGB100

電源	使用電池	単一形アルカリ電池x3個(内蔵)
	電池寿命	待機状態で1年間、1日に5回アラームが鳴って約6カ月間(20℃時)
	通電確認	電源スイッチON時赤LEDランプ点滅
	電池切れ表示	「BATTERY LOW」表示のオレンジLEDが早く点滅時は電池電圧が低く、電池交換が必要
アラーム	送信機タグのID電波を受信するとアラームが鳴り、ブルーLEDがフラッシュする	
	アラーム音圧レベル	最大100dB/1m、ボリュームによる音圧可変範囲0~100dB
	アラーム音動作時間	約8秒間
	アラームフラッシュ動作時間	約8秒間
受信休止時間	アラーム終了後8秒間休止	
感知距離	送信機タグが近づくと電波を受信してアラームが作動、作動距離は背面の感度調整ボリュームで0.5m~1.3mに調整可能	
	感度調整ボリューム	目安になる距離は赤マークが近距離、青マークが中距離、黄色マークが遠距離
ID登録	送信機タグのデジタルID登録可能数	30個まで追加登録可能
	送信機タグID登録方法	登録ボタンを押し、赤LED点灯後、ID電波を出すと「ピピピ」音とともにLEDが消えて登録完了
	送信機タグID消去方法	登録ボタンを押し、赤LED点灯後、登録済みのID電波を出すと「ピー」音とともにLEDが消えて消去完了
	送信機ID全部消去方法	登録ボタンを8秒間押しつづけ、「ピーー」という長いアラーム音が聞こえれば登録した全てのIDデータは消去されます。
取付け構造	壁面に付属のねじ2本で取り付け、ネジピッチ60mm、ネジ頭と壁面の距離3~4mmで親機を壁面にセットします	
本体材質	ABS樹脂	
本体外形寸法	114(W)x200(H)x55(D)mm	
質量	630g(電池を含む質量)、245g(本体のみの質量)	

付属品一式(WGB150x1セット)徘徊防止アラーム専用

1. 親機用 壁面設置用ネジ	2本
2. 送信機タグ用 保護袋	1個
3. 衣類取付けクリップ付ストラップ	1本 ポケットのない衣類に身に付ける時、保護袋にタグを入れ、クリップで衣類に取り付けます。
4. 送信機タグ用 紐ストラップ	1個
5. 保護袋衣類取付け用縫製マジックテープ	1組 保護袋と衣類にマジックテープを縫い付けて、タグを保護袋に入れて身に付けます。
6. 取扱説明書 本紙	1式

製品のお問い合わせ先

思いやり君 徘徊防止アラーム(セット) WGB150(親機WGB100、送信機タグWSA33)

JAN:4943125-708429

リーベックス株式会社

〒333-0801 埼玉県川口市東川口3-10-5

TEL:048-294-4945 FAX:048-294-4948

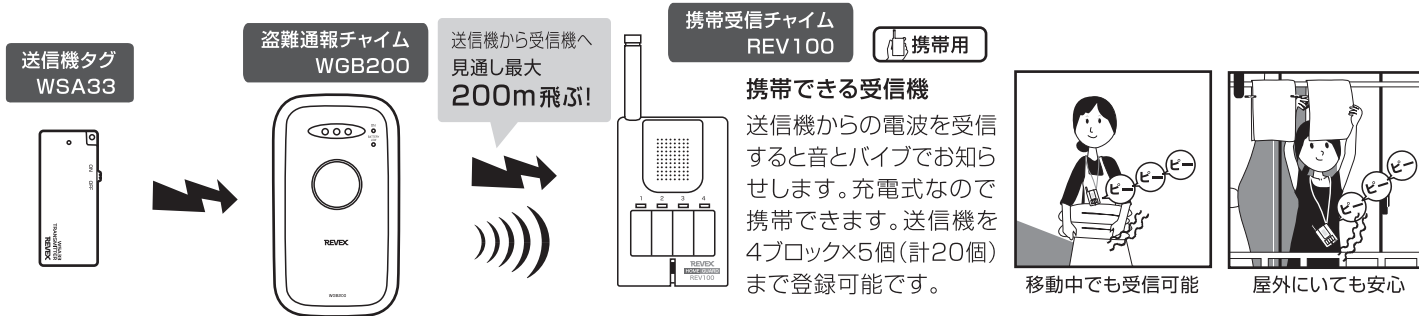
[2010/01/08]

徘徊通報チャイムセット / 品番 : **WGB250**

取扱説明書

『思いやり君』徘徊通報チャイム

この徘徊通報チャイム(以下、WGB250という)は、送信機タグを付けた徘徊ご老人や要介護者が、親機を設置したドア・階段などに近づくときと光と音で警告を発すると同時に、離れた場所にいる介護者や家族の方にチャイム音で通報するワイヤレス通報装置です。広い建物或いは別室・作業中などで、警告アラームが鳴っても介護者が居る場所にはアラーム音が聞こえない場合に、携帯受信チャイムに光とアラーム音で通報しますので要介護者がドアや階段に近づいていることがわかります。



WGB250 徘徊通報チャイムの内容

*WGB250は、WSA33とWGB200及びREV100のセット品番です。
それぞれの内容については、下記の説明及びHOME GUARD単体説明書をお読みください。

送信機タグ (WSA33)

- 徘徊ご老人に取り付ける送信機タグです。
- 追加する場合は、警報装置に送信機のデジタルIDコードを登録しなければなりません。
- 登録方法は、基本セットに記載した内容を確認の上ご使用ください。

徘徊通報チャイム・親機 (WGB200)

- 基本セットのWGB100と同一外観ですが、本体内部に通報用送信機を内蔵しています。
- 通報用送信機の電池はあらかじめ9V電池を内蔵しており、すべてセットアップしてありますので、すぐに使用できます。(電池切れの場合は、下記の「通報装置9V電池の交換方法」をご覧くださいの上電池を交換してください。)
- 徘徊通報チャイムの使用方法はWGB100と同様です。
- 電源スイッチをONにして、ボリュームを適当な場所に回しておきます。また、受信距離の設定をしてから使用します。
- 送信機タグからの電波を受信するとアラームが鳴り、ブルーLEDがフラッシュするとともに、同時に自動的に通報電波を出します。

携帯受信チャイム (REV100)

- *詳細については、付属のHOME GUARDシリーズ取扱説明書に記載したREV100の説明をご覧ください。
- 携帯受信チャイムを使用するに当たり、まず、付属の充電器を使用して内蔵電池を十分に充電してください。満充電には約8時間かかります。正面中央最下部のLED(ブルー)が点滅から点灯に変わります。
- 電源スイッチをONにしてボリュームを適当な位置に回します。
- スイッチを▶マークにします。
- 送信機タグのIDコードは登録済です。新たに登録作業をする必要はありません。
- 送信機タグをONにして、親機に3~5mの範囲に近づくとき親機のアラームが鳴りフラッシュすると同時に、自動的に電波を出し、この電波をREV100が受信して1番のLEDが30秒間点滅すると同時に、「ピーピーピーピーピー」音が鳴ります。音量は、ボリュームで調節します。

拡張性

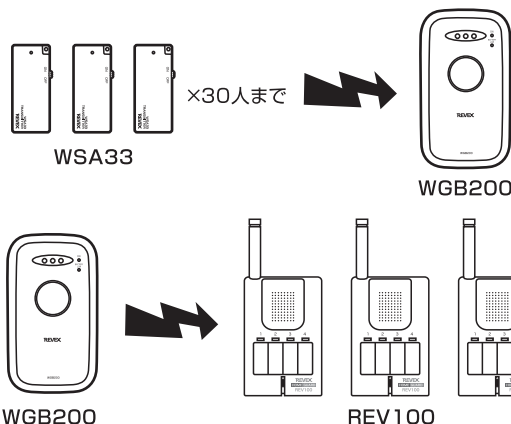
これらをそれぞれ複数個使用して、複数の徘徊ご老人、複数の階段や出入口、複数の介護担当者を対象に使用数を拡張することができます。

■複数の送信機タグ(WSA33)を使用

複数の徘徊ご老人を同時に監視することができます。30人まで1つの徘徊通報チャイム・親機で監視することができます。

■複数の携帯受信チャイム(REV100)を使用

一つの徘徊通報チャイム・親機から同時に複数の介護担当者に通知することができます。



■複数の徘徊通報チャイム・親機を使用して、階段・出入り口などの監視場所を同時に監視することもできます。

■携帯受信チャイムは11か所の監視場所を特定することができます。

■広い施設などでは、携帯受信チャイムに通報電波が届かないこともあります。その場合は、レピーター(中継機)REV2000を効果的に使用すれば、どこにいても通報電波を確実に受信することができます。

■予算上携帯用受信チャイムが購入できない場合、又は、固定型の低価格受信チャイムが良い場合は、受信チャイムREV300を使用することもできます。

■固定型受信チャイムで、同時に多数の監視場所の判別が必要な場合は、8チャンネル受信チャイム&サイレンREV500をご使用ください。

仕様【WGB250】

WGB100の仕様の他に、下記の機能が追加になります。

① 徘徊通報チャイム内蔵送信機 【REV20C】

周波数 : 426.8375MHz小電力セキュリティ送信機
 送信電波 : デジタルID電波
 出力電力 : 7mW以下
 使用電池 : 9Vアルカリ電池1個(内蔵)
 電池寿命 : 1日10回作動して約1年間
 安全のために9か月くらいで定期的に交換してください。電池交換方法は、下記をご覧ください。

② 携帯受信チャイム 【REV100】

周波数 : 426.8375MHz小電力セキュリティ受信機。
 受信ID電波登録可能数 : 20個まで。内蔵のREV20CのIDコードは登録済みです。
 受信可能距離 : 屋外見通しで150m(身体に密着時)。
 受信表示チャンネル : 4チャンネル。LEDで30秒間点滅表示。
 受信アラーム音 : 「ピピピピピ」音、音量可変可能、バイブレータ内蔵。
 ①アラーム音 ②パイプ ③アラーム音とパイプ の3つのモードに切り替え使用可能。

*詳細は別紙のHOME GUARDシリーズ取扱説明書をお読みください。

*上記の受信機では受信できない場所をカバーする中継機(レピーター)REV2000もあります(別売)。

③ 内蔵送信機の9V電池交換方法

- この装置の内部には、内蔵の通信機能送信機が組み込まれています。電池切れを起こすと、REV100が受信できなくなります。同一場所で受信できていたものが、受信が不安定になってきた場合はすぐに電池を交換してください。できるだけ、9か月毎に定期的に交換してください。
- 交換電池として、新品の9Vアルカリ電池を1個ご用意ください。
- 交換方法
 1. 警報装置を壁から外します。
 2. 電源スイッチをOFFにしてください。
 3. 背面の周囲の子ネジ6本を注意して外します。
 4. ケースを前後半分に分けます。
 5. 背面ケースの中の送信部を取り出し9V電池を取外します。このとき、電極と反対側の黒いスポンジ板方向に電池を押しつけながら外してください。
 6. 新品電池を同様にして入れます。+/ーを間違えないようにセットしてください。
 7. 送信部を元の位置に戻し、ケースを合わせて、最後にネジ止めます。

